

鳳 陽

—— 開学の祖「上田鳳陽」先生 (1769～1853) の教えを汲み ——

第175号

令和4年5月15日

発行所 一般社団法人 鳳陽会
(山口大学経済学部同窓会)
〒753-0089 山口市龜山町3-1
TEL・FAX (083) 924-4361
E-mail : houyou99@crocus.ocn.ne.jp
印刷所 株式会社マルニ



鳳陽寮寮歌 歌碑 (山口大学経済学部前庭)

第92回通常総会 小規模開催止むなし 書面での議決権行使を



一般社団法人 鳳陽会

理事長 松永 昭博 (学21)

● コロナ感染、収束見えず

新型コロナウイルスの感染者が武漢で確認されたのが令和元年の暮れでした。それ以来、感染者が世界中に広がり、収束しかけたかと思うと、変異株の出現により新たな感染拡大が始まるという循環が繰り返されており、不自由な生活を強いられるままの状態が続いています。

こうした中で、通常(全国)総会をどのような形で開催するか検討を重ねてきました。ワクチンが普及し、接種率が高まったこと、またウイルスが弱毒化し、罹患者も重症化しにくくなったとの専門家の見方が強まったことから、三年ぶりに通常の形で開催することも検討しました。

しかし、ウイルスは弱毒化したものの、かえって感染力が強まっていると報じられていること、また会員の皆様には基礎疾患をお持ちの方も多いことから、高齢の会員の皆様も全国から数多く参加される通常(全国)総会を一同が集まる通常の形で開催するのは、やはり無理があると判断に至りました。

● 規模縮小、懇親会中止

ただ定款上、決算や理事の承認などは、事業年度終了後3か月以内、すなわち6月中旬に定時総会で議決を要することになっています。

このため、今回の総会も、昨年および一昨年と同様、大幅に規模を縮小して、極小人数のみが出席し、山口で開催することとしました。

議決を要する議題につきましても、大半の皆様がご出席いただかなくても済むように、書面によつて議決権を行使していただく形をとりました。ここに皆様のご理解とご協力をお願いする次第です。

また、今回の通常(全国)総会では広島支部に開催の担当をお願いしておりました。総会開催へ向け事前準備をしていただいた広島支部の皆様に対しては、ここに至るまでのご努力、ご尽力に感謝申し上げます。

何分、本部も支部もコロナ前のような活動が出来る状況にはなく、皆様には大変ご不便をおかけしますが、何卒ご理解いただきましたたく存じます。

●支部総会は独自判断で

通常(全国)総会は今述べた形で開催することになりませんが、支部総会については、支部独自の判断で開催の在り方を検討していただきたいと考えております。

●活動への提言・要望を

コロナ禍では従来のように同窓生が一堂に集い、語り、酌み交わす場を作ることは難しくなっています。しかし、取組方針次第で、逆に従来とは異なる形で、より活発な同窓生の交流を行うことも可能ではないかと考えています。

●おわりに

特にホームページの自動配信機能を活用することで本部と支部、支部と支部の情報や意見の交流も活発化するのではないかと考えています。

こうしたアイデアや取組など、コロナ禍での同窓会活動の活発化へ向けた意見をお寄せいただきたいと思います。同窓会活動全般に関する提言や改善案をいただくことで今後の活動の参考にしたいと考えています。

●活動への提言・要望を

コロナ禍では従来のように同窓生が一堂に集い、語り、酌み交わす場を作ることは難しくなっています。しかし、取組方針次第で、逆に従来とは異なる形で、より活発な同窓生の交流を行うことも可能ではないかと考えています。

●おわりに

最後にありますが、会員の皆様におかれましてはご自愛いただき、来年は懇親会を含め、総会を開催して、その席で皆様にお会いできることを強く願っております。

例えば支部の中では、戸外で小規模に集うイベントを重ねているところもあるほか、ホームページを活用し、同窓生の投稿が一定の頻度でホームページに掲載される都度、会員のアドレスへ自動配信されるような取組がなされています。

一般社団法人鳳陽会第92回通常総会要領

昨年末には新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が減少し、ワクチンの接種も進展したことなどから、広島市での第92回通常総会の開催についても検討しました。しかし、変異株の出現により感染は拡大しており、会員の皆様に全国からご参集いただき、第92回通常を開催できる環境にはないと判断し、会員の皆様には、昨年と同様、書面での議決をお願いすることとしました。どうか、皆様のご理解、ご協力をお願いします。

1 総会規模の大幅縮小、懇親会の中止

第92回通常総会及び懇親会は、規模を大幅に縮小して最低限の人数で開催することとし、懇親会は中止することとしました。なお、全ての正会員が書面によって議決することは認められていませんので、通常総会は役員のみが出席し、次のとおり開催することとしています。

- ・ 開催日時：令和4年6月11日(土) 13:00～14:00
- ・ 開催場所：山口市亀山町3-1 鳳陽館

2 議決権行使書

同封の「議決権行使書」のはがきに次の事項をご記入の上、目隠用シールを貼り投函ください。

- (1) 日 付：「議決権行使書」のご記入の月日を記入してください。
- (2) 賛 否：第1号議案及び第2号議案の「賛」「否」いずれかを○で囲んでください。
- (3) 会員名等：住所、卒期及び氏名を記入の上、押印してください。卒期は高商・大学はいずれかを○で囲み、卒期を記入してください。

3 留意事項

ご本人に議決権を行使していただく「議決権行使書」のはがきは、議決権のある正会員(賛助会費納入会員又は年会費納入会員)の方にのみお届けしています。「議決権行使書」のはがきは、遅くとも令和4年6月10日(金)には届くようにご返送ください。

なお、書面による決議を前提としているため、通常総会の出欠等を確認するはがきは、正会員及びその他会員の皆様とも同封していません。悪しからずご了承ください。

学長就任のご挨拶

山口大学長

谷澤 幸生



令和4年(2022年)4月1日をもちまして、第14代山口大学長を拝命した谷澤です。紙面をお借りして鳳陽会の皆様にご挨拶を申し上げます。

私は昭和52年(1977年)山口大学医学部に入学し、以来、45年間、山口大学にお世話になって参りました。卒業後は、当時の内科学第3講座(第3内科)に入局し、主として内分泌・代謝・糖尿病学を専門とし、教育・診療・研究に従事しました。平成28年4月から

び、学長に選任いただきました。山口大学は文化12年(1815年)、長州藩士・上田鳳陽先生により創設された私塾・山口講堂を前身とし、すでに207年の歴史を持ちます。現在では9学部、8研究科を擁する総合大学で、1万人以上の学生が在籍し、121,800人余の卒業生・学位授与者が日本全国、世界各国で活躍しています。中でも経済学部は最も古い歴史を持ち、開学以来の鳳陽会の皆様の各界でのご活躍に深甚

なる敬意を表します。山口大学長を担わせていただく重責をひしひしと感じ、理事・教職員、そして学生とともに山口大学のさらなる発展を期して全力を尽くして参ります。

ます。変化する社会に対して強く、しなやかに対応できる研究を行い、人材育成を実践することが重要です。Society5.0やカーボンニュートラルへの対応にはすでに着手しており、一層SDGsに取り組んで参ります。

迎え、地方大学は困難な時期に向かっています。入学したい大学、入学させたい大学であることが何より重要です。地域の基幹大学として、歴史と伝統を踏まえ、本学の基本理念で示す「発見・はぐくみ・かたちにする知の広場」で、学生をはじめとするステークホルダーとの協働・連携により未来を共創し、社会に貢献して参ります。

医学部長・医学系研究科長を、令和2年4月から副学長(大学評価担当(併任))、令和3年4月から本年3月まで理事・副学長(総務企画・情報セキュリティ、大学評価担当)を務め、このた

て、当初期待したようなグローバル化の時代に対応できる人材の輩出という方向にはあまり進んでいないと思います。

国立大学は特に地域との連携、地域への貢献が求められています。社会課題を地域と共有し、企業や教育機関、行政機関と協働し、地域に頼られ、地域から必要とされる魅力ある大学を目指します。少子化社会を

まだまだ弱いところがあります。最近では、STEAM教育やデータサイエンスなどを全学生の必須科目にしよ

低迷や減少という傾向に表れているのではないかとも思っています。私は、学長選考会という会議に出席しているのですが、そこでも同じような趣旨の発言が外部委員からありました。学生の教育は大学の根幹である、山口大学は政府をはじめとした外部資金の獲得に成功している素晴らしいけれども、学生の声に耳を傾けるといふ点ではどのような取り組みを実施していますか?

就任のご挨拶

経済学部長

有村 貞則



この4月より第27代学部長に就任しました有村貞則と申します。まさかこのような重責を担うことになるとは思っていません。戸惑ってばかりですが、

誠心誠意職務を全うしていく所存ですので、ご支援・ご協力・ご指導の程、よろしくお願ひします。さて、昨年12月に次期学

置、観光政策学科の新設医療・福祉経営コースの導入など時代のニーズを踏まえた新しい学びの場を学生に提供し、成果をおさめて

就職面でも変化が生じています。これまでは公務員と並んで地元の金融機関への就職が経済学部の学生の間に人気がありました。今では低迷しています。よって金融機関以外の業界や企業との連携も密にして学生の就職をサポートしていく

必要があるのですが、この連携、特に山口県外の企業とのつながりという面では

幸いにも前学部長が学生と外部の人たちの意見を学

学園だより

「入学前TOEIC対策講座」を受講して

部の運営に反映させるための体制づくりに着手してくれ、それが今後、動いていきます。そこで、しっかりと学生の意見に耳を傾け、また鳳陽会の皆様のアドバイスとご指導を仰ぎながら多くの学生にとって魅力のある学習の場づくりに取り組んでいきたいと思えます。

○吉本 湧生我

昭和40年、大阪府堺市生まれ、同志社大学商学部卒、神戸商科大学(現兵庫県立大学)大学院経営学研究科修士課程修了、同博士後期課程単位取得退学、国際経営論専攻

私は商業高校出身で、普通科出身の学生との学力の差を少しでも埋められるようにと思いつきました。始めは、TOEICという言葉だけで不安になり、ついていけないか自信がありませんでした。しかし、先生の音声講義やオンライン講座で、問題を解くコツを知り、日に日に上達していくことを感じるようになりました。講座の音源を聞いていたので、繰り返し聞くことができ、自分のレベルに合わせて進めるところが良いと感じました。また、先輩方の成功例や英語がなぜ必要なのかというお話もいただき、モチベーションアップにも繋がりました。

した。TOEIC300点の学生が山根先生の授業で短期間に成績を伸ばし、700点まで点数をアップさせた聞き、英語が苦手な私でも勉強次第でいくらでも成長できるのだとやる気ができました。

○谷川 廣洋

現状でTOEICが何点取れるかは分かりませんが、自分の英語力が以前より身につけていると感じています。入学前に受講することで不安も軽減させることができました。今後も勉強を怠らず、頑張りたいです。

○田中 陽南人

私は英語が好きでしたが、得意ではなく自信を持てずにいました。これまでに英語のテストも思うような点が取れずいたので、この講座を受けようと思えました。

○岩田 唯里

今回、この講座を受講して良かったと思います。TOEIC対策の授業内容はもちろんですが、この一か月の講座が無ければ、いざ入学した時に何から始めたら良いか分からず、遅れをとっていたかもしれません。また、入学前に英語やプログラミングを武器に海外で働いている先輩のお話も聞くことができ、有意義な時間を過ごせました。

学部短 信

(敬称略) 次のとおり先生の異動をお知らせします。

退職(令和4年3月31日付)

AKKEMIK KUCUK ALI

経済学科 教授

(福岡大学商学部 教授)

天津 邦明 経済学科 教授

(独立行政法人国際協力機構)

仲間 瑞樹 経済学科 教授

(流通科学大学経済学部)

教授

李 海峰 経済学科 教授

(山口大学経済学部)

非常勤講師

米岡 秀眞 経済学科 准教授

(奈良県立大学地域創造学部)

松田 温郎 経営学科 准教授

(西南学院大学商学部 教授)

新任(令和4年4月1日付)

大岩 隆明 経済学科 教授

(国際協力機構 緒方貞子)

平和開発研究所 主査

濱村 実子 経営学科 講師

(宮崎産業経営大学 講師)

TOEIC400点以上が経済学部の卒業要件と分かっていたので、自分でも問題集を購入するなど対策を始めていました。しかし、本格的に勉強に取り組んでいなかったため、今回の講座はとても良い機会でした。私はリスニングが苦手なので、その対策を講座でできたことは良かったです。今後も先生からいただいた問題を何度も復習して理解できるようにしたいと思います。また、私は落ち込みやすい性格で、講座中のテストであまり出来ず不安になっ

ていましたが、「最初は出ていなくても当たり前」という山根先生の言葉のおかげで不安を無くすことができました。先生の話の中で印象に残っていることは、「英語」「会計」「IT」の三種の神器についての話です。私は商業高校出身で会計はある程度の能力はあると自負しているのですが、在学中に英語の能力を伸ばしたいと思いました。

私は英語が好きでしたが、得意ではなく自信を持てずにいました。これまでに英語のテストも思うような点が取れずいたので、この講座を受けようと思えました。この講座では、どの問題も最初から丁寧に教えてくださったので、とても分かりやすく、楽しく受講できました。また、音声付きの解説を送っていただいたおかげで、TOEIC対策をしていなかった私にとって、独学で勉強するより格段に分かりやすく、理解を深めることができました。今回受講して、英語をよ

○来間 絢名

私の今までの英語の勉強法は、参考書などを読むことが主で聞くことは意識していませんでした。

しかし、今回の講座を受講して、英語を聞くことの重要性がよくわかりました。英語を聞いて勉強することで発音を覚え、人それぞれかも知れませんが、私の場合は集中を保つことができ、より頭に入りました。また、英語の歌を歌うことで自然と発音の仕方を身に付けられる上に、楽しく勉強出来ました。

リーディングでは、時間配分の大切さを教えていただき「問題を捨てる勇気を持って」と言われたことが印象に残りました。リスニングでも、多くの攻略法を覚えていただき、これからの学習に活かしていきたいです。

○和田 康佑

毎週火曜日のオンライン講義と課題に取り組むことで勉強を習慣付けることができました。この講座を受講してなかったら、合格発表から入学までの間、勉強を疎かにしていたかもしれません。定期的に行われる

講座を目標にメリハリをつけることができたのは有難いことでした。

また講義の中では、英語のことだけではなく、これからの大学生活についても話してくださり、大学生活への不安を少なからず抱えている我々にとっては有意義なものでした。先輩方のお話も聞くことができ、TOEICの勉強はもちろんですが、4年間たたくさんの挑戦をしたと思います。

○二宮 昂大

私はこの講座を受講することで、勉強への意欲と、少しずつですが英語の知識を身に付けることができたと思います。

最初は「この講座を受講する意味はあるのだろうか？」と思うつと何となく申し込んだだけでした。しかし、先生の雑談を交えつつ、分かりやすく丁寧な講義を受講することで、私も徐々に頑張ろうと思えるようになり、講義後も、先生が「この問題をやっておくといいよ」と紙媒体と音声データを送ってくださり、一人では勉強をサポートしてしまう私でも、継続して

勉強ができました。

○八木 零嗣

私は、TOEICが入学後の一番の不安要素でした。商業科出身で英語が苦手な私は、受講しても何も理解出来ないのではないかと思っていました。

しかし、受講してみると、先生が丁寧に解説してくださり、講義内容も理解できました。TOEICの問題がレベル分けがされており、難易度によつての違いの説明がありました。これなら

本番でも問題の難易度を見極め、解くことができると感じました。また、分かりにくい単語の意味の解説や語源についても教えてくださり、単語が覚えやすくなりました。他にも様々な課題があり、効率よく勉強を進めることができました。今回の講座を通して、不安だったTOEICについて知ることができてよかったです。5回しか講義がないのが残念で、もっと色々なことを学んでおきたかったです。

○森山 和香

この講座を受講して印象

的だったのは、リスニングでの「待ち伏せ攻撃」です。私は、今までは1から10まで内容を聞こうとして、次の問題まで影響するような解き方でした。今回の講座で聞く前の準備がいかにか点につながるかが学べました。

もちろん、すぐに正解数にはつながつてはいませんが、以前よりは前向きに取り組みています。また、待ち伏せ攻撃法は、英文の速読力も鍛えられると私は思います。限られた時間の中で内容を理解するためには、この方法は良い練習になると感じました。山根先生の音声講義を利用して、これからも勉強に励みたいと思います。

講座を受講することで、TOEICの基礎知識や解き進め方はもちろんですが、オンライン授業の雰囲気やZOOMの使い方ができて良かったです。入学後もしつかりと英語に取り組みたいと思います。

○橋本 千聖

私が高校時代によく耳にしていたのが、商業高校出身の学生は、大学で英語と

数学に躓く人が多いという話です。そのため、普通高校出身の学生と4月から共に学ぶことに不安がありました。また、入学までの間、大学で必要となる英語のレベルが分からないまま独学で勉強を進めることにも限界を感じていました。しかし、この講座を一か月間受講したことによって、少し自信がついたように思います。

私は特にリスニングが苦手だったため、山根先生の講義で徹底的に学べたことが嬉しかったです。リスニングは問題集の解説が和訳のみであることが多く、単語や文法のように暗記することもできないため、勉強法に悩んでいました。しかし、この講座では、一問ずつ音声で丁寧な解説があり、聞くべきポイントを知ることができました。最初は聞き取れないものも多かったのですが、最後の講座では難易度の高い問題を解くことができ、確実に力がついていくことを実感しました。

今回の講座を受講して、英語の実力がついてきたこと、また、実際の講義を体験したことで、入学後のイメージが具体的にになりました。

た。この講座で学んだことを活かし、勉強に励んでいきたいです。

○岩井 寛征

TOEIC400点以上が、経済学部卒業要件です。商業高校出身の私にとつてこの講座を受講できたことは、かなり大きかったと思います。

しかし、今回の講座を受講して、自らの英語力の低さを身に染みて感じました。受講生の中には、かなりの問題数を解けている人もいて、私も負けていられないと思いました。講座は終わりましたが、これからも毎日英語に触れて少しでも高い点数を取るようになっていきたいと考えています。



私の近況と在学生の皆さんに宛てる熱いメッセージ

石川 諒(学6)

■自己紹介

初めまして。2018年経済学部国際経済学科を卒業した大学66期の石川諒と申します。今回、大学時代にとってもお世話になった山根和明教授のご依頼のもと、「私の近況と在学生の皆さんに宛てる熱いメッセージ」を記載させていただきます。

■私の大学時代での英語環境について

私は、冒頭で述べたとおり、国際経済学科で主に東南アジアの経済などを勉強しておりました。しかし、それ以外にも当時から海外と関わる仕事に就きたいと漠然と思い、様々な方法で英語の学習に励みました。私の「漠然とした思い」を成し遂げるためにしたこととして、キーワードとなる単語が二つあります。一つ目は「フィリピン留学」、二つ目は、「アクティブラーニング」になります。

一つ目のキーワードの「フィリピン留学」ですが、私は大学時代にフィリピン留学を2回ほど経験しております。実は、インターン生としてフィリピン留学支援の会社でお手伝いをしたこともあり、フィリピン留学を経験して得たものは、聞いては話すことの難しき、そして海外での実践的な24時間の英語漬けによる基礎英語力の向上です。とにかく、一番大きかったのは、自分の英語に対する自信だと思えます。英語が話せない人でも、毎日マンツーマンのレッスンを受ければ、嫌でも英語力は上がります。そして、辛い経験もあとから振り返れば、自分の大きな自信につながります。コロナ禍でなかなか難しいかもしれませんが、大学時代にチャンスがあれば是非、留学すべきだと私は心の底から思います。

次に、二つ目のキーワードの「アクティブラーニング」です。私は、学生時代に山根教授の授業を受講しておりました。そこで出会った一つの英語の学習法がアクティブラーニングになります。在学当時から、授業時間は、楽しいアイデアが詰め込まれたものになっていました。例えば、毎回授業開始時に、恒例の教授自らアコースティックギターを持って洋楽を一緒に歌ったり、実際に海外で使用するであろう英文フレーズを使って生徒同士で会話する、といった実践的な会話レッスンになっていました。

実は、今卒業して、社会人になって思うのですが、英語を取得する上で一番重要なことは、発音だと思っています。現在多くの人が、TOEICで高い点数をとることを目標にしていますが、最終的には英語を話せるようになることが英語を勉強する多くの人の最終目標及び課題だと私は思っています。その理由としては、英語はコミュニケーションのための一つの道具だからです。英語でコミュニケーションをとることは、

いかに単語や、文法の使い方を知っていたとしても、正しく発音しないと相手に伝わらず、残念ながら、会話は成立しません。私も、フィリピン留学や、実際に海外の人とコミュニケーションをとる際に、痛いほど経験しました。そんな苦い経験をしなかったためには、「英語を話せる口にする」ことが大切だと個人的には思います。「英語を話せる口」って何？と思う人もいるかもしれませんが、それは一言で言えば、「Nativeの話す英語を真似できるような、口にする」ということです。その第一歩として、英語で歌を歌うということは一つの練習方法だと思います。そして英会話ができるようになる近道だと思えます。是非、今、山根教授のレッスンを受講している人は、ただ、歌うだけでなく、口元を意識してレッスンに励んでみてください。

■社会に出て英語を話せることの社会人としての付加価値

大学卒業後、私は海外にも展開している某飲食

HITACHI
Inspire the Next

LOGISTEEDは、進化をやめない。

物流を超えたさまざまな領域の協創パートナーとともにめざすのは、世界がまだ知らない未知のイノベーションだ。新たな市場を形成するプラットフォームとなるために動き始めた。LOGISTEEDの進化は、止まらない。

物流は新領域へ

LOGISTEED

www.hitachi-transportssystem.com
株式会社 日立物流

未知に挑む。 **日立物流**

チェーン店の社員として採用されました。先に述べておきますが、現在、私は色々な経験をj経てプログラムエンジニアとして、海外向けの車のナビゲーションシステムを作っています。

まず、この飲食店で働いた経験で、大学時代に実践的な英語を学んで役に立ったことをお話ししようと思います。

皆さんの中で、「国内の飲食店で働く際に、英語力が必要？」って思う人はいるでしょうか。実際に、働いて思ったことは、英語が話せることで色々なチャンスを得ることができ、十分に活かすことができるということです。その多々あるチャンスの中でも、就職してから私の人生に一番大きな影響のあったチャンスをお話したいと思います。それは、海外のお客さん向けの都市部の新規店舗のオープンングスタッフの一人として抜擢されたことです。

因みに、会社の同期が200人前後いる中で、オープンングスタッフとして配属されるのは、ほんの一握りになります。ましてや、当時会社の中で一番最

前線の店舗で働くことのできる機会など、通常ではあり得ません。そしてオープンングスタッフの経験が評価され、私はすぐに店長に昇進します。因みに、入社1年目で店長になるということは、中々ないことです。今となつて思えば、他の同期の方も、仕事をしっかりとやっていたと思います。これも英語を話すことができたという恩恵だと思っております。

店長になつてからは、全国でも売り上げのTOP10に入るほどの店舗を任せられるようになります。そこでは、従業員が80人以上おり、従業員の半分以上が外国人でした。その際も英語でコミュニケーションをとれることを武器にして、他の人には真似のできない英語と日本語を駆使しながら、従業員の信頼を掴み、店舗の安定した運営の確立に邁進しました。このように意外と日本にいても、「英語を少しでも自信を持って話すことができる」とアピールすれば、他の人には経験のできないチャンスが、目の前に転がり込んで来ることがあるのです。

しかし、ここまで順調であった社会人生活でしたが、皆さんも今振り返られている新型コロナウイルス感染拡大に直面し、店舗の売上げは大打撃を受けました。

そして、今までは、多忙に多忙が重なり自分の時間などはほとんど無かったのですが、コロナ禍で自分の時間を作れるようになり、私の大学時代の思いを再度見つめ直す時間が自然と増えるようになりました。やはり、そこでも、「もつと海外に関わり、私の英語力をもつと活かした仕事をした」という思いが沸沸と湧いてきました。そこで、2020年の冬に転職する決意を固めました。

実際、コロナ禍での転職はとても難しく、英語を活かしながら他の武器も取得しないと転職を失敗するなと考えるようになりました。転職する際の私の個人のテーマとしては「英語+〇〇」でした。

私は〇〇を見つめるべく、当時は情報収集を必死に続けました。その際に、YouTubeの広告で運良く「プログラミング」とい

うものに出会いました。そして、2020年の夏からプログラミングを一から勉強するために、私はプログラミング専門学校に3ヶ月間通いました。

そこで、プログラミングの基本的な技術を学び、就職活動をして、今では車のカーナビや車載関係を得意とするソフトウェアを取り扱っている会社に就職することができました。まだ、今の会社に入つて1年しか経っていませんが、ここでも英語を武器に様々なチャンスを得ることができました。

まず、今の会社に入社したときのことです。入社後、私の採用に関わった人

うものに出会いました。そして、2020年の夏からプログラミングを一から勉強するために、私はプログラミング専門学校に3ヶ月間通いました。

そこで、プログラミングの基本的な技術を学び、就職活動をして、今では車のカーナビや車載関係を得意とするソフトウェアを取り扱っている会社に就職することができました。まだ、今の会社に入つて1年しか経っていませんが、ここでも英語を武器に様々なチャンスを得ることができました。



事担当に聞きました。なぜ、私を即決で採用していただけたのか、と。その時の人事担当からの答えは、「英語を話せるのは大きいね」と言われました。やはり、英語を話せることは、とても大きな武器になると改めて感じさせられました。

そして、最近では、自分の英語力を活かして、アメリカのラスベガスで開かれたCES2022というイベントに参加できるメンバーとして現地に赴きました。CESは簡単にいうと、海外の最先端の技術に触れることのできるデジタル見本市です。そこには多くのグローバル企業が参加

しており、最新の技術に触れられるのはもちろん、多くのビジネスの交渉ができる場になっています。まさに、これこそ私のやりたかったことの一つの成功体験だと思いました。コロナ禍で色々苦悩した期間はありませんが、今は、本当に充実した毎日を過ごしています。

今後の目標としては、ソフトウェアエンジニアとして働きながら、海外事業の立ち上げなどにも貢献していきたいと思っています。

■最後に在学生の皆さんへ
英語ってそんなに重要って思う人も意外と少ないと思います。会社人になつて上司から「英語を勉強しておけばよかった。」という後悔話をよく聞きます。そして、「石川くんは英語が話せるから羨ましい」とよく言われます。社会人の「英語ができる」とは、英語を話せることに直

して、今までは、多忙に多忙が重なり自分の時間などはほとんど無かったのですが、コロナ禍で自分の時間を作れるようになり、私の大学時代の思いを再度見つめ直す時間が自然と増えるようになりました。やはり、そこでも、「もつと海外に関わり、私の英語力をもつと活かした仕事をした」という思いが沸沸と湧いてきました。そこで、2020年の冬に転職する決意を固めました。

祝 御卒業・御入学

(経済学部からのデータに拠る)

令和3年度卒業生就職状況 ※令和4年3月31日現在

業種	男	女
農業、林業	1	0
建設業	8	4
製造業	25	11
電気・ガス・熱供給・水道業	3	0
情報通信	22	12
運輸・郵便	6	2
卸売・小売	24	14
金融・保険	15	18
不動産・物品賃借	7	3
学術研究・専門・技術サービス	11	5
宿泊、飲食サービス	3	0
生活関連サービス、娯楽	0	2
教育・学習支援	3	6
医療・福祉	6	4
複合サービス	1	0
サービス	7	6
公務員	46	15
合計	188	102

※令和3年9月卒業生11名を含む

令和3年度卒業生進路状況 ※令和4年3月31日現在

進路状況	男	女
就職者	188	102
進学者	4	3
その他	30	13
合計	222	118

※令和3年9月卒業生11名を含む

令和3年度卒業生

【学部】

学科・課程	男	女
経済学科	98	37
経営学科	100	66
経済法学科	1	0
観光政策学科	23	15
合計	222	118

※令和3年9月卒業生11名を含む

令和3年度修了生

【大学院 経済学研究科】

学科・課程	男	女
経済学	13[12]	10[10]
企業経営	4[1]	5[5]
合計	17[13]	15[15]

※令和3年9月修了生22名を含む
※〔 〕は、留学生で内数

令和4年度入学者数

	経済学部
男	229
女	124
合計	353

結します。社会人になれ
ば、TOEICの点数が高
くても、この人「英語がで
きる人だな」とは残念なが
ら評価はされません。だか
らこそ、英語をせっかく学
ぶなら、山根教授の下で実
践的な英語力を身につけ、
少しでも自信を持って英語
を話せるようになって欲し
いのです。

海外に行かなくても実践的
な英語力を身につける方法
はたくさんあります。実
際、私の場合、隙間時間を
見つけてDM英会話を利
用して、オンラインで海外
の人と話す時間を週3日設
けてます。少しでも今の自
分の英語力を維持するべ
く、日々鍛錬してます。

是非、貴重な大学時代に
何か一つでも多く、社会人
としてアピールできる武器
を備えて、社会人デビュ
ーしてください。その一つが
英語であることを心から
願っております。

最後になります。英語
の勉強方法やプログラミン
グなどで気になることがあ
れば、気軽に相談してきて
ください。因みに、今、私
の働いている会社の紹介も
できます。

私がCES2022に参
加した際の画像に会社の
ホームページのQRコード
を添付してありますので、是非
是非、気になる方はスキヤ
ンしてチェックしてみてください。
因みに、私の会社
では、プログラミングを一



**学校経営を支援する
多彩なソリューションを
ご提供します。**

- 印刷、IT、映像、イベント、人材等の幅広い事業リソースを活かし、
- 学校案内や広報誌の制作をはじめ、HPや映像制作、eラーニング、
- 学生のキャリア教育・就職支援、同窓会事務局の運営支援等、
- 円滑な学校経営をサポートします。

まずはお気軽にお問い合わせください

株式会社広濟堂ネクスト

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-1-1興銀ビル2F
TEL 06-7178-0530
https://www.kosaido.co.jp/



投稿歓迎



当会では会員の皆さまからのご投稿を心よりお待ちしております。同窓会、ゼミ、クラブのOB・OG会、学生時代の思い出、催しのご案内等何でも結構です。投稿はメール、郵便で受付しております。詳しくは事務局までお問い合わせください。

- ★5月15日号……(3月15日まで)
- ★9月15日号……(7月20日まで)
- ★1月15日号……(11月20日まで)

- ▽随感随想=1000字程度
- ▽ひろば=600字程度
- ▽本の紹介=300字程度
- ▽支部・同期会だより=600字程度



詩、短歌、俳句、写真など、
皆さまの作品も大歓迎です。



支部だより

東京支部

第2回

長州歴史ウォーク

開催

鳳陽会東京支部は令和3年12月4日(土)、東京・靖国神社と日比谷公園周辺で第2回長州歴史ウォークを開催しました。学13期から42期までの同窓生が集い、歴史の現場を巡りました。



集まった同窓生たち



桜田門前にて

この日は快晴。イチョウ並木は美しく色づいています。同窓生たちが靖国神社境内の大村益次郎像前に集合してきました。第1回長州歴史ウォークに参加した同窓生も多く、再会を喜んでいました。

大村益次郎は長州出身。幕末、さつそうと現れ、戊辰(ぼしん)戦争で新政府軍の軍事指導者として活躍しました。靖国神社創建にも関わったのです。コロナ禍、同窓生はマス

クを着用し、2班に分かれて出発しました。靖国神社参拝後、遊就館を見学。展示されているゼロ戦や人間魚雷「回天」の前に立ち、先の大戦を振り返りました。

屋敷後、さあ、午後の部スタートです。千鳥ヶ淵近くに松下村塾で学んだ品川弥二郎像が建っています。彼は戊辰戦争で官軍が掲げた「錦の御旗」に深く関与しました。京都から生地を長州・山口に持ち帰り、ひそ

かに御旗を仕立て上げたと伝えられます。

千鳥ヶ淵を進むと、江戸城が見えてきます。堀にかかる橋を渡り、城内へ。天守台からは高層ビルが林立する都心が一望できました。

桜田門に到着。幕末、大老、井伊直弼(なおすけ)が襲撃された現場です。歴史に詳しい同窓生が当時の状況を説明。激動の幕末に思いをはせていました。

ゴールは日比谷公園です。江戸時代、この地に長州藩邸が建っていました。青雲の志に燃える高杉晋作らが勇躍、出入りしていたことでしょう。

参加者たちは「歴史の現場を巡るこのコースを初めて歩いた」「同窓生と再会できて楽しかった」と笑顔で話していました。

コロナ禍ですが、東京支部はこれからも感染リスクを抑えた野外イベントを企画。山大経済の絆を深めていこうと考えています。

(東京支部 塩塚 保)

山口日産グループは
MOBILITY LIFE GROUP

モビリティライフグループへ
Mobility Lifeを通じてお客様の豊かな人生「Quality of Life」の実現を社員一丸となって努めてまいります。

Audi | Porsche | Nissan | Renault | Alpine | Suzuki

Audi e-tron GT | Taycan | ARYA | LUTECIA | A110 S | AITO

MLG株式会社 | ルノー山口
山口日産自動車株式会社 | アルピーヌ山口
山口スズキ株式会社 | とく道文庫
アウディ山口 | 日産部品販売株式会社
ボルシェセンター山口 | トータルカーサービス株式会社

代表取締役会長 **末富 喜昭 (学19期)**

〒753-0251 山口市大内千坊6丁目2番1号
TEL.083-922-2200(代) フリーダイヤル 0120-008923

詳しくはWebにて

歴史と文化の山口県に軸足を置いて
公益活動を展開する山口県人ゆかりの会

講演会活動、奨学金貸与、教育・文化研究活動、
先賢遺徳顕彰事業

公益財団法人 **防長倶楽部**

理事長 **八木 重二郎** (山口市出身)
顧問 **松野 浩二** (学1 防府市出身)
顧問 **村岡 嗣政** (山口県知事)
会 員 **松永 昭博** (鳳陽会理事長)

〒108-0074 東京都港区高輪3-25-23 京急第2ビル
Tel.03-3445-9111 Fax.03-3445-9122
URL: http://www.bochoclub.com
E-mail: kouzai@bochoclub.com

—入会をお待ちしております—

動 静

住所変更

学27	野村 哲朗
学31	永谷 博
学32	大久保正子
学32	山本 信道
学34	鷺尾 忠彦
学36	鷺尾 真弓
学46	井上 貴司
学46	栗尾智三郎
学63	森 麻美
学67	山藤 祐紀
学69	原田 慎平

住所不明者
会報が返送されます。
住所をご存知の方はお知らせ下さい。

★高商経専の部

経42 出口 元治

★大学の部

学2	田長丸一美
学2	池永 弘毅
学3	矢野 由人
学28	小林 洋二
学67	大藤 至
学67	栗林加奈子

ご 寄 贈

(敬称略)

「日月(にちげつ)の会合時 1969+48」

(文芸社セレクション・文庫版)

右記の図書を経済学部卒業生(学2)が、御室 簾(みむろ れん)のペンネームで刊行し、会員の皆さんにも読んでいただきたいとして、鳳陽会にも数冊ご寄贈いただきました。

ご購入をご希望される方は、鳳陽会事務局まで一報ください。なお、アマゾンでも購入できます。

(本体定価500円+税)

住所・氏名等、変更された場合はお知らせください

住所・勤務先など変更がございましたら、事務局までご連絡ください。

連絡方法は下記の通りです。よろしく願いいたします。

TEL & FAX : 083-924-4361

Mail : houyou99@crocus.ocn.ne.jp

ホームページ (http://www.houyou.or.jp/)からの変更手続きも可能です。

是非ご活用ください。

鳳陽会

検索



個人情報保護のため、詳細は掲載しておりません。詳細をお知りになりたい方は当会までご連絡下さい。会員の方に限り、お知らせいたします。

謹んでお悔み
申し上げます。



★高商経専の部

学69	井川 佳奈
学69	中野 翔太
学69	篠原 奈那
学69	小山穂菜美
学68	横田 侑季
学68	森藤 秀喜
学68	藤本 大喜
学68	岸 優作
学68	岡 寛範
学67	森重 直也

船津十四郎 (経38)	4	1	13
田内 浩 (経39)	1	1	1
林 隆 (経43)	4	3	3
安村 美彦 (経43)	3	1	1
新屋 守弘 (経44)	2	11	21

★大学の部

大野 浩三 (学1)	4	1	17
福光 泰雄 (学2)	1	1	1
藤田 良輔 (学4)	3	11	15
浦 義道 (学7)	3	12	31
吉井 悟 (学8)	1	1	1
渡辺 護 (学10)	4	1	5
廣橋 蔚 (学11)	3	7	31
安井 秀人 (学12)	3	8	18
井本信太郎 (学16)	3	11	23
岡本 哲也 (学18)	3	8	20

本誌への広告のお願い

事務局では、皆様方からの機関誌「鳳陽」への広告掲載の申し込みを募集しております。

広告は一回のみの掲載から、通年(年3回発行)等の掲載が可能です。また、主なサイズ、料金は下記のとおりです。

詳細については、事務局へお問い合わせください。

- ★1/3頁(横182mm×縦86mm) 40,000円
- ★1/6頁(横90mm×縦86mm) 20,000円
- ★1/9頁(横58mm×縦86mm) 15,000円
- ★名刺版(横58mm×縦42mm) 5,000円

「払込取扱票」の全面的な見直しについて

一般社団法人鳳陽会は、会報「鳳陽」の発行・配付や会員情報の管理・更新などの活動を行っています。また、鳳陽会寄附講座の開講、学生の就職活動に対する支援や、職業会計人コース、英会話講座開講に対する支援など、母校山口大学経済学部に対する支援を行っています。

こうした同窓会活動を主に支えているのは、卒業生の会費と特定資産の運用益ですが、年会費は納入率が低下し、納入額が年々減少しており、また、低金利の状態が続いていることから特定資産の運用益も減少しており、収支状況は厳しく、財政基盤の強化が喫緊の課題となっています。

こうした背景もあり、平成29年には鳳陽会内に理事5名をメンバーとする具体策検討プロジェクトチームを設置して検討を進め、平成30年に鳳陽会活動の基盤強化と活性化のための「アンケート結果に基づく具体策への取組」を策定して、賛助会費を納めた方も含め、会員の皆様のどなたからも寄付金を受け入れることができる仕組みづくり、寄付制度の創設を、同窓会活動の資金確保の一方策として位置付けています。

このたび、この寄付金を受け入れることができる仕組みとして、これまでの払込取扱票の全面的な見直しを行い、年会費の納入だけでなく、寄付金、また、賛助会費の納入もできる新しい払込取扱票を作成したものです。会員の皆様におかれましては、会費の納入とともに、寄付につきましても、格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

1 会費納入のお願い

会員の皆さんが納入する会費には、「年会費」と「賛助会費」の二種類があります。

① 年会費

年会費は、毎年、3,000円です。

② 賛助会費

賛助会費は、1口1万円です。1口以上、随意となっています。賛助会費を5口（5万円）以上納入された方は、年会費の納入が免除されます。また、5口以上納入いただいた皆様には感謝の意を込めて、従前と同様、会報「鳳陽」でお名前をご紹介し、顕彰させていただきます。

2 寄付のお願い

寄付金額は、随意となっています。ご寄付いただいた皆様には感謝の意を込めて、会報「鳳陽」でお名前をご紹介し、顕彰させていただきます。

3 「払込取扱票」のご記入時の留意事項

- 「寄付金」、「賛助会費」及び「寄付金」のうち該当する項目の「金額」欄に金額をご記入ください。
- 入金確認、会員の動向把握のため、「払込取扱票」のご依頼人欄には、郵便番号、住所、氏名（旧姓）、電話番号、卒期（又は卒業年）のご記入をお願いします。
- 賛助会費の納入、寄付について、会報「鳳陽」へのお名前掲載を希望されない場合は、払込取扱票の「会報『鳳陽』掲載不要 賛助会員、 寄付金」の□に「（チェック）」を入れてください。

4 その他

- 令和4年（2022年）1月17日以降、ゆうちょ銀行の送金料金が改訂され、現金（証券、小切手、証書等を含みます。）でお支払いの場合には、払込人である会員に対して新たに「現金利用時の加算料金」110円がかかることになりました。したがって、極力、加算料金110円が必要ない郵貯の通帳又はキャッシュカードを使用した口座からの振込みをお願いします。

また、郵便局窓口での鳳陽会の振込手数料負担額は203円ですが、ATM利用の場合には振込手数料は152円となります。極力、ATMをご利用いただき、鳳陽会の振込手数料の節約にご協力をお願いします。

- 一般社団法人鳳陽会は公益認定を受けていないため、所得税の寄付金控除、個人住民税（県民税・市町村民税）の寄付金税額控除の税制上の優遇措置はありません。

第92回 通常総会の決議事項及び報告事項

決議事項

Ⅱ 貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

第1号議案 令和3年度決算

(単位：円)

Ⅰ 正味財産増減計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差 異
I 一般正味財産増減の部			
Ⅰ 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,042,171	1,768,976	273,195
受取入会金	6,180,000	6,400,000	△ 220,000
受取会費	2,857,000	3,103,000	△ 246,000
受取寄付金	50,000	80,000	△ 30,000
受取広告料	380,000	440,000	△ 60,000
受取利息	63,666	65,858	△ 2,192
雑収入・その他	4,301,600	3,806,600	495,000
経常収益計	15,874,437	15,664,434	210,003
(2) 経常費用			
① 事業費	13,081,505	12,404,166	677,339
給料手当	3,289,770	3,289,770	0
福利厚生費	515,660	479,669	35,991
教育援助費	4,873,080	4,834,080	39,000
情報交流費	886,620	125,179	761,441
減価償却費	493,574	500,012	△ 6,438
通信運搬費	1,378,385	1,390,228	△ 11,843
消耗品費	36,888	31,698	5,190
「鳳陽」刊行費	1,163,226	1,286,800	△ 123,574
同窓会事業費	226,060	259,982	△ 33,922
光熱水料費	218,242	206,748	11,494
② 管理費	4,214,741	4,426,090	△ 211,349
給料手当	1,426,230	1,426,230	0
福利厚生費	220,998	205,570	15,428
会議費	45,420	13,200	32,220
旅費交通費	299,500	0	299,500
通信運搬費	463,442	467,666	△ 4,224
減価償却費	211,530	214,291	△ 2,761
消耗品費	72,887	63,026	9,861
消耗品什器備品費	72,228	118,461	△ 46,233
修繕費	0	462,000	△ 462,000
光熱水料費	93,533	88,607	4,926
賃借料	688,235	687,359	876
租税公課	279,300	280,500	△ 1,200
雑費	341,438	399,180	△ 57,742
経常費用計	17,296,246	16,830,256	465,990
当期経常増減額	△ 1,421,809	△ 1,165,822	△ 255,987
Ⅱ 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金戻入	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,421,809	△ 1,165,822	△ 255,987
一般正味財産期首残高	46,388,488	47,554,310	△ 1,165,822
一般正味財産期末残高	44,966,679	46,388,488	△ 1,421,809
(うち特定資産への充当額)	41,102,121	40,397,017	705,104
Ⅲ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減高	△ 4,300,000	△ 3,800,000	△ 500,000
指定正味財産期首残高	163,200,000	167,000,000	△ 3,800,000
指定正味財産期末残高	158,900,000	163,200,000	△ 4,300,000
(うち特定資産への充当額)	120,300,000	120,300,000	0
Ⅳ 正味財産期末残高	203,866,679	209,588,488	△ 5,721,809

注) 上記正味財産増減計算書は、平成20年会計基準で作成

科 目	当年度末	前年度末	増減
I 資産の部			
Ⅰ 流動資産			
現金・預金	41,654,365	46,892,062	△ 5,237,697
未収金	0	0	
流動資産合計	41,654,365	46,892,062	△ 5,237,697
Ⅱ 固定資産			
(1) 特定資産			
前受入会金引当資産	30,060,000	30,040,000	20,000
記念基金引当資産	117,500,000	117,500,000	0
建設基金引当資産	1,800,000	1,800,000	0
教育研究積立金引当資産	2,000,000	2,000,000	0
減価償却引当資産	40,102,121	39,397,017	705,104
特定資産合計	191,462,121	190,737,017	725,104
(2) その他の固定資産			
建物	5,875,859	6,544,790	△ 668,931
建物付属設備	1	1	0
構築物	168,169	184,801	△ 16,632
什器備品	463,938	483,479	△ 19,541
出資金	30,000	30,000	0
投資有価証券	0	460,283	△ 460,283
その他の固定資産合計	6,537,967	7,703,354	△ 1,165,387
固定資産計	198,000,088	198,440,371	△ 440,283
資産合計	239,654,453	245,332,433	△ 5,677,980
Ⅱ 負債の部			
Ⅰ 流動負債			
預り金	10,020	7,020	3,000
未払金	77,754	76,925	829
前受金	5,640,000	5,620,000	20,000
流動負債合計	5,727,774	5,703,945	23,829
Ⅱ 固定負債			
前受入会金	30,060,000	30,040,000	20,000
退職給付引当金	0	0	0
固定負債合計	30,060,000	30,040,000	20,000
負債合計	35,787,774	35,743,945	43,829
Ⅲ 正味財産の部			
Ⅰ 指定正味財産	158,900,000	163,200,000	△ 4,300,000
(うち特定資産への充当額)	120,300,000	120,300,000	0
Ⅱ 一般正味財産	44,966,679	46,388,488	△ 1,421,809
(うち特定資産への充当額)	41,102,121	40,397,017	705,104
正味財産合計	203,866,679	209,588,488	△ 5,721,809
負債及び正味財産合計	239,654,453	245,332,433	△ 5,677,980

注) 上記貸借対照表は、平成20年会計基準で作成

Ⅲ 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券：償却原価法（定額法）によっている。
- 固定資産の減価償却の方法
法人税法に規定する旧定額法及び定額法によっている。
- リース取引の処理方法
通常の賃貸借取引に係る方法によっている。

2 会計方針の変更

財務諸表の様式等、新公益法人会計基準（平成20年基準）に準拠している。

3 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
前受入会金引当資産	30,040,000	6,200,000	6,180,000	30,060,000
記念基金引当資産	117,500,000	0	0	117,500,000
建設基金引当資産	1,800,000	0	0	1,800,000
教育研究積立金引当資産	2,000,000	0	0	2,000,000
減価償却引当資産	39,397,017	705,104	0	40,102,121
合 計	190,737,017	6,905,104	6,180,000	191,462,121

- 4 特定資産の財源等の内訳
特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
前受入金引当資産	30,060,000	0	0	30,060,000
記念基金引当資産	117,500,000	117,500,000	0	0
建設基金引当資産	1,800,000	1,800,000	0	0
教育研究積立金引当資産	2,000,000	1,000,000	1,000,000	0
減価償却引当資産	40,102,121	0	40,102,121	0
合 計	191,462,121	120,300,000	41,102,121	30,060,000

- 5 担保に供している資産
担保に供している資産はない。
- 6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

項 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	37,162,833	31,286,974	5,875,859
建物付属設備	500,000	499,999	1
構 築 物	1,868,000	1,699,831	168,169
什 器 備 品	7,079,255	6,615,317	463,938
合 計	46,610,088	40,102,121	6,507,967

- 7 保証債務等の偶発債務
保証債務等の偶発債務はない。
 - 8 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価益は、次のとおりである。
- | 科 目 | 帳簿価額 | 時 価 | 評価損益 |
|----------------|------------|------------|--------|
| オランダ水道整備金融公庫 | 50,000,000 | ***** | ***** |
| コミュニケーションイスト I | 24,754,250 | ***** | ***** |
| 大阪府公募公債 | 10,000,000 | 10,093,000 | 93,000 |
| 合 計 | 84,754,250 | ***** | ***** |
- 9 関連当事者との取引の内容
関連当事者との取引はない。
 - 10 重要な後発事象
重要な後発事象はない。

Ⅳ 監査報告書

私たち監事は、令和4年4月9日から15日までの間において、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度における一般社団法人鳳陽会の業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施状況について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号）の第99条、第124条及び一般社団法人鳳陽会の定款第23条に基づき監査を行いました。その方法及び結果について、下記のとおり報告します。

- 1 監査の方法及び内容
 - (1) 各監事は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。
 - (2) 各監事は、事業報告書並びに金銭出納帳、銀行勘定帳、総勘定元帳、預金通帳、各種証券書類の調査を行い、貸借対照表、正味財産増減計算書等の計算書類及びこれらの付属明細書及び財産目録の監査を実施しました。
 - (3) 各監事は、公益目的支出計画実施報告について、事業報告、財務諸表及び関係書類を閲覧し、計画の実施状況の監査を実施しました。
- 2 監査結果
 - (1) 事業報告は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
 - (2) 計算書類は、会計帳簿又はこれに関する資料の記載金額と一致し、当法人の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。
 - (3) 公益目的支出計画実施報告書は、事業報告、計算書類の記載内容と一致し、法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示していると認めます。
 - (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

以 上

令和4年 4月15日

監事 西 田 正 人 ㊟

監事 森 敏 明 ㊟

第2号議案 役員を選任

理事 候補者（敬称略）

氏 名	卒 期	支 部	備 考	氏 名	卒 期	支 部	備 考
1 松 永 昭 博	学21	東 京	重任	6 石 畠 克 幸	学26	山 口	重任
2 塩 塚 保	学23	東 京	重任	7 床 本 隆 夫	学29	(注)	重任
3 羽 根 彰	学29	大 阪	重任	8 日 高 義 隆	学21	北九州	重任
4 山 下 秀 雄	学26	広 島	重任	9 鬼 木 和 夫	学17	福 岡	重任
5 久 芳 博 安	学19	山 口	重任				

注) 宇部・山陽小野田支部

監事 候補者（敬称略）

氏 名	卒 期	支 部	備 考	氏 名	卒 期	支 部	備 考
10 西 田 正 人	学20	(注)	重任	11 山 根 信 之	学30	山 口	新任

注) 宇部・山陽小野田支部

報告事項

I 令和3年度事業報告

1 教育支援事業(母校、地域、在学生への支援)

- (1) 経済学部との連携による経済学部生の就職活動に対する支援
 - ① 就職アドバイザー3人による学生の就職相談への対応
毎週、火曜日、木曜日及び金曜日の週3回、13:30~15:30の2時間、経済学部就職相談室で就職相談を実施。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、急激な感染拡大中はZoomを使用したWeb会議方式、リモートに切り替えて実施。
 - ② 模擬面接の実施(11月~1月の水曜日、計6回実施)
企業等の人事担当者及び就職アドバイザーが面接官になり、学生との集団模擬面接を実施。参加企業は、宇部興産機械(株)、ガイド(株)、東京海上日動火災保険(株)、山口日産自動車(株)、(株)向学社及び(株)山口フィナンシャルグループの6社。
- (2) 経済学部職業会計人コースに対する支援及び助成
 - ① 職業会計人を目指す経済学部生14名に対し、柳上奨学金(給付型奨学金)計3,900千円を給付。
 - ② 公認会計士試験合格者4名の表彰、副賞の助成
- (3) 経済学部における国際交流及びグローバル人材育成に対する支援及び助成
留学生の参加を得て実施する英会話実践講座開講に要する経費の一部を支援。なお、例年実施してきた短期海外語学留学参加学生に対する支援等は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、短期海外語学留学が実施できないため、未実施。
- (4) 経済学部学生の学年別・学科別成績優秀者への表彰、上田鳳陽賞の授与、副賞の助成。

2 交流事業

- (1) 卒業時、卒業生(新会員)に鳳陽会紹介リーフレット「花なき山の…」及び記念品(鳳陽会ロゴ入りシャープペンシル)、機関誌「鳳陽」を配付し、鳳陽会各支部活動への参加、卒業後の住所の連絡、会費の納入を要請
- (2) 山口大学同窓会(各学部同窓会の連合同窓会)活動の支援・参加
山口大学同窓会において、ホームページへの動画掲載等リモートによるホームカミングデーの開催、七夕祭等の学生企画の活動に対する支援、ヤマミィカードの作成・山口大学卒業生へのアプローチの試み等の取組を展開。
また、江戸末期に大内御堀で白方郎商を営んでいた福田文吉氏宅の敷地内に長年大切に保管されていた上田鳳陽先生顕彰碑が山口大学の共通教育棟玄関ホールに移設された。令和4年1月12日(水)には、顕彰碑の除幕式が開催され、鳳陽会から松永昭博理事長が出席。
- (3) その他、例年次のような各種交流事業を実施してきたが、今年度も新型コロナウイルスの感染拡大が続いたため、中止等を余儀なくされた。
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、霜仁会(医学部同窓会)、常盤工業会(工学部同窓会)等他学部の同窓会総会の案内はなく、出席の実績なし。
 - 会員と学生との積極的交流
 - ・ 経済学部学生ゼミ連主催の「卒業祝賀パーティー」が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、今年も中止となった。

「鳳陽会」の活動が拡大発展できるように、ご協力下さい

3 同窓会関係事業

(1) 第91回通常総会(全国総会)を次のとおり開催した。なお、新型コロナウイルスの感染防止の観点から、通常総会自体はZoomを使用したWeb会議方式、リモートで開催し、ほとんどの会員は書面による議決権の行使とした。

- ・ 日 時 令和3年6月19日(土) 13:47~14:35
- ・ 場 所 山口市亀山町3-1 鳳陽館
- ・ 出席者 546名(正会員総数1,527名)

(2) 会員の動静管理や鳳陽会関係資料の充実

各支部との連携の下、会員の動静把握・情報整理に努めるとともに、各支部・会員へ迅速・正確なデータの提供、鳳陽会関係資料の一層の充実に努めた。

(3) 鳳陽会の厳しい財政状況の改善方策の一つとして、会員の誰からも寄付金を受け入れることができる寄付制度の創設、新たな払込取扱票についての検討を進め、令和4年5月、機関誌「鳳陽」の送付に合わせて会員に届けることができるよう、準備を進めた。

(4) その他にも、例年実施してきた鳳陽会各支部総会への本部からの参加及び情報提供等については、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、支部総会の開催が軒並み中止となったこと等により未実施。

4 会報発行事業

(1) 機関誌「鳳陽」の編集、発行及び送付・配付を年3回実施した。

- ・ 第172号(5月発行)

従来どおり、海外会員を含む全会員(住所・自宅判明者:12,689名)へ送付

- ・ 第173号(9月発行)及び第174号(1月発行)

鳳陽会の厳しい財政状況を踏まえ、正会員(年会費納入会員及び賛助会費納入会員)及び最近の卒業生約2,480名のみを送付

- ・ その他、経済学部の教官(現・旧)、経済学部生及び新入生保護者や、山口大学学長、副学長や関係部課(総務部、広報課等)、他学部同窓会及び他大学同窓会等へ送付

5 本年度の重点施策(再掲)

鳳陽会の組織運営体制を強化し、鳳陽会の同窓会活動の活性化を図り、次の世代に同窓会活動を繋いでいくために、アンケート結果に基づく具体策として、次の施策を展開した。

(1) 組織運営体制の強化

各支部との連携の下、鳳陽会各支部の会員名簿を整理し、会員の動静把握に努める等、鳳陽会の組織運営体制の強化に努めた。

(2) 鳳陽会活動の活性化

鳳陽会の新しいホームページを令和2年12月から運用開始するとともに、令和4年度から実施すべく寄付制度創設についての検討・準備を進めるなど、「アンケート結果に基づく具体策への取組」に掲げた各具体策についての取組・検討を進めた。

II 公益目的支出計画実施報告

□ 令和3年度(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)の概要

1 公益目的財産額	177,256,123円
2 当該事業年度の公益目的収支差額((1)+(2)-(3))	37,993,763円
(1) 前事業年度末日の公益目的収支差額	34,334,202円
(2) 当該事業年度末日の公益目的支出の額	3,659,561円
(3) 当該事業年度の実施事業収入の額	0円
3 当該事業年度末日の公益目的財産残額	139,262,360円

4 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由

令和3年度は、実績額が公益目的支出計画の計画額を約84万円下回ったが、これは新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、寄附講座をWeb会議方式で開催し、講師の旅費が必要なくなったこと。また、卒業祝賀会等が中止となるとともに、日中学术交流等助成事業への寄附(特定寄附)はなく、講演会、シンポジウムの開催

実績がなかったこと等による。

引き続き、来年度も公益目的支出計画に基づき、経済学部に対する支援等を行うこととしており、公益目的支出計画は完了予定事業年度である令和34年度までには完了できる見込みである。

□ 公益目的支出計画の状況

1 公益目的支出計画の完了事業年度の末日(計画上の完了見込み) 令和35年3月31日

2 公益目的財産の状況

(単位:円)

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	
公益目的財産額	177,256,123	177,256,123	177,256,123	177,256,123	177,256,123
公益目的収支差額	36,027,200	34,334,202	40,530,600	37,993,763	45,034,000
公益目的支出の額	4,503,400	3,668,319	4,503,400	3,659,561	4,503,400
実施事業収入の額	0	0	0	0	0
公益目的財産残額	141,228,923	142,921,921	136,725,523	139,262,360	132,222,123

□ 実施事業(教育支援事業・継続事業)の状況等

1 事業の概要

(1) 当該事業に係る公益目的支出の見込額 4,403,400円

(2) 当該事業に係る実施事業収入の見込額 0円

2 当該事業実施年度の実施状況

(1) 当該事業に係る公益目的支出の額 3,659,561円

(2) 当該事業に係る実施事業収入の額 0円

(3) ((1)-(2))の額 3,659,561円

(4) 当該事業に係る損益計算書の費用の額 3,659,561円

(5) 当該事業に係る損益計算書の収益の額 0円

(6) 事業の実施状況

ア 経済学部及び学生に対する教育支援事業

職業会計人コースに対する支援・助成、就職活動に対する支援、経済学部に対する支援

イ 講演会、シンポジウム及び関連諸行事に対する支援及び実績実績なし。

3 実施事業資産の状況等

(単位:円)

資産の名称	前事業年度末日の帳簿価額	当該事業年度末日の帳簿価額	使用の状況
建 物	1,963,454	1,762,778	計画どおり、引き続き当該事業で使用
建物付属設備	0	0	計画どおり、引き続き当該事業で使用
構 築 物	55,428	50,436	計画どおり、引き続き当該事業で使用
什器備品	145,015	139,147	計画どおり、引き続き当該事業で使用

□ 特定寄附(山口大学基金に対する寄附)の実施状況

1 当該寄附の相手方の名称及び所在場所

(1) 名 称 山口大学基金

(2) 所在場所 山口県山口市吉田 1677- 1

2 寄附の実施状況等

実績なし

III 令和4年度事業計画

1 教育支援事業(母校、地域、在学生への支援)

(1) 寄附講座(経済学部特殊講義1)の開講(令和4年10月~令和5年2月の間で開講)。講師5名(各3回担当、計15回開講)、受講生は毎回10名を予定。意見交換等、講師・受講生の意思疎通を図ることができる「ゼミナール形式」での開講を予定。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によっては、令和3年度と同様、リモー

ト(Zoom)での開催を検討。

- (2) 経済学部との連携による学生の就職活動に対する支援
就職アドバイザー(鳳陽会会員3人)による就職に関する個別相談、企業人事担当者及び就職アドバイザーによる集団模擬面接の実施
- (3) 経済学部職業会計人コースに対する支援及び助成
 - ① 職業会計人を目指す学生への柳上奨学金(給付型奨学金)の給付
 - ② 公認会計士試験、税理士試験合格者の表彰
- (4) 経済学部における国際交流及びグローバル人材育成に対する支援及び助成
 - ① 留学生参加の英会話講座開講に要する経費の一部を助成
 - ② 英会話副読本購入経費の助成
- (5) 卒業生、在学生の各学年、各学科の成績優秀者及びTOEIC成績優秀者の表彰
- (6) 教育、ゼミ活動、研究充実のための支援、助成及び講演会等の後援
- (7) 学生ゼミナール連合協議会主催の「卒業記念パーティー」への助成

2 交流事業

- (1) 山口大学同窓会活動(ホームカミングデー等)への積極的参加
- (2) 山口大学他学部同窓会及び他大学同窓会との交流の促進
- (3) 卒業時、経済学部卒業生(新規会員)へ鳳陽会紹介冊子「花なき山の…」を配付し、記念品(シャープペンシル)を贈呈
- (4) 新入学生の「保護者懇談会」、学年別オリエンテーション等で「鳳陽会」の組織・活動内容等を具体的に紹介し、同窓会活動に対する理解を促進
- (5) 本部ホームページの管理・運営

3 同窓会関係事業

- (1) 新卒業生や既卒業生の動静把握、会員名簿の整理・充実に努め、会員動静の一層の把握に努める。
- (2) 各支部の鳳陽会ホームページの積極的な活用を促進する。
- (3) 各支部との連携による会員の動静管理、鳳陽会関係資料の一層の充実や、会員データの迅速な検索、抽出及び提供に努める。(会員限定)
- (4) 鳳陽会の厳しい財政状況の改善の一方策として、会員の誰からも寄付金を受け入れることができる制度を創設。新しい「払込通知票」を作成・配付し、会員から寄付金を募る。
- (5) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を踏まえ、第92回通常総会(全国総会)は山口市において開催することとし、会員のほとんどは書面によるものとする。
令和4年度：第92回通常(全国)総会、6月11日(土)、山口市の鳳陽館において開催

4 会報発行事業

- 内容の充実を図るとともに、会員及び学生からも親しまれる、読みやすい機関誌「鳳陽」を目指して、従前どおり、年3回発行、編集する。
- (1) 第175号(5月発行)は、従来どおり海外会員を含む全会員に送付
 - (2) 第176号(9月発行)・第177号(1月発行)は、当会の財政状況を踏まえ、正会員(年会費納入会員及び賛助会費納入会員)のみに送付
 - (3) 経済学部の教官(現・旧)や在学生、大学本部、他学部同窓会、他大学同窓会等に配付・送付

5 本年度の重点施策(再掲)

- 鳳陽会の組織運営体制を強化し、鳳陽会活動の活性化を図るため、引き続き「アンケート結果に基づく具体策への取組」を進める。
- (1) 組織運営体制の強化
同窓会活動の基本である会員の動静把握に努めるとともに、支部組織の強化・再編に取り組み、鳳陽会の組織運営体制の強化を図る。
 - (2) 鳳陽会活動の活性化
支部活動の支援、ホームページの管理・運営、会員から寄付金を受け入れる寄付制度の創設、機関誌「鳳陽」の内容の充実を始めとする「アンケート結果に基づく具体策への取組」に掲げた各具体策の取組を進め、鳳陽会の同窓会活動の活性化を図る。

IV 令和4年度収支予算

(単位：円)

科目	当年度予算	前年度予算	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,346,000	2,346,000	0
受取入金	6,800,000	6,800,000	0
受取会費	3,200,000	3,200,000	0
受取寄付金	700,000	100,000	600,000
受取広告料	360,000	420,000	△ 60,000
受取利息	14,000	94,000	△ 80,000
雑収入・その他	4,600,000	4,600,000	0
経常収益合計	18,020,000	17,560,000	460,000
(2) 経常費用			
① 事業費	14,910,000	14,716,000	194,000
給料手当	3,290,000	3,290,000	0
福利厚生費	509,000	516,000	△ 7,000
教育援助費	6,140,000	6,140,000	0
情報交流費	700,000	970,000	△ 270,000
減価償却費	494,000	494,000	0
通信運搬費	1,420,000	1,420,000	0
消耗品費	40,000	30,000	10,000
「鳳陽」刊行費	1,530,000	1,460,000	70,000
同窓会事業費	570,000	200,000	370,000
光熱水料費	217,000	196,000	21,000
② 管理費	4,638,000	4,374,000	264,000
給料手当	1,426,000	1,426,000	0
福利厚生費	218,000	212,000	6,000
会議費	140,000	40,000	100,000
旅費交通費	450,000	320,000	130,000
通信運搬費	460,000	480,000	△ 20,000
減価償却費	211,000	211,000	0
消耗品費	60,000	60,000	0
消耗品什器備品費	80,000	80,000	0
修繕費	40,000	40,000	0
光熱水料費	93,000	84,000	9,000
賃借料	730,000	690,000	40,000
租税公課	280,000	281,000	△ 1,000
雑費	450,000	450,000	0
経常費用合計	19,548,000	19,090,000	458,000
当期経常増減額	△ 1,528,000	△ 1,530,000	2,000
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用合計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,528,000	△ 1,530,000	2,000
一般正味財産期首残高	44,858,488	46,388,488	△ 1,530,000
一般正味財産期末残高	43,330,488	44,858,488	△ 1,528,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減高	△ 4,600,000	△ 4,600,000	0
指定正味財産期首残高	158,600,000	163,200,000	△ 4,600,000
指定正味財産期末残高	154,000,000	158,600,000	△ 4,600,000
III 正味財産期末残高	197,330,488	203,458,488	△ 6,128,000

注)上記収支予算(案)は、平成20年会計基準の損益ベースで作成

上田鳳陽先生顕彰碑の 移設・除幕式について

山口の大内御堀(現在の
山口市宮島町)で白外郎商
を営んでいた福田文吉郎氏
(福田百合子中原中也記念
館名誉館長の曾祖父)が、
江戸末期、安政5年

陽先生顕彰碑の設置経緯に
ついての説明・報告があり、
次と同じく主催者である岡
正朗学長から福田家に感謝
状が授与されました。

(1855年)、同家の敷地
内に建立し、その後、長年
大切に保存されてきた上田
鳳陽先生の業績を称える顕
彰碑を、学生教育に役立て
て欲しいという福田家のご
意向を受けて、このたび山
口大学で譲り受けることに
なり、山口市吉田の山口大
学共通教育棟の1階玄関
ホールに移設されました。

その後、岡正朗学長から
顕彰碑を寄贈いただいた福
田家に対する感謝や、顕彰
碑を山口大学構内に設置す
ることの意義について挨拶
がありました。その後、福
田百合子名誉館長から、福
田家が顕彰碑を設置した頃
の様子や顕彰碑の学生教育
での活用について山口大学
に対する期待が述べられた
後、司会の掛け声により、
除幕が行われました。

は、除幕式も執り行わ
れ、大学構内に移設さ
れた顕彰碑がお披露目
されました。除幕式に
は、来賓として、顕彰
碑を寄贈した福田家の
現当主福田理穂様、福
田百合子中原中也記念
館名誉館長とともに、
一般社団法人鳳陽会か
ら、松永昭博(学21)
理事長が出席しました。
除幕式では、始めに
主催者の田中和広副学長
(地域連携担当)から上田鳳

顕彰碑には、「山口講堂」
を興し、山口大学、そして



(写真提供 山口大学)

経済学部を礎を築いた上田
鳳陽先生の生い立ちから、
高潔で温厚な人柄、振舞、
また、山口に学問の環境が
整っていないことを深く憂
い「山口講堂」を開設した経
緯を始めとする様々な業績
などが記されています。

この顕彰碑の原文は、上
田鳳陽先生の終生の友で、
明倫館学頭を務めた山縣禎
によるものであり、上田鳳
陽先生の学問への飽くなき
探究心や終生友を大切にさ
れていたその人となりが大
く表されています。



(写真提供 山口大学)

山口大学に通う学生の皆
さんが、大学の構内に設置
されたこの上田鳳陽先生の
顕彰碑を目の当たりにし
て、これまでの山口大学、
そして経済学部の歴史を身
近に感じ、誇りに思い、勉
学に励まれんことを期待し
て止みません。(石島記)

本号の内容

通常総会	1~2
学長・学部長就任の ご挨拶	3~4
学園だより	4~8
支部だより	9
動静	10
払込取扱票の全面的な 見直しについて	11
第92回通常総会資料	12~15
上田鳳陽先生顕彰碑の 移設・除幕式について	16

事務局から

山口大学では、3月23日
に卒業式及び大学院修了
式として、4月5日には入
学式が執り行われました。

新型コロナウイルス感
染症の感染防止のため、昨
年度と同様、来賓や保護者
の参加はなく、式典は午前
と午後の2回に分け、座席
の間隔を広く取って開催
されました。なお、参加で
きない保護者等のために
式典はライブ配信(アーカ
イブ動画配信)されまし
た。

以前のような式典の光
景とは大きく様変わりし
ましたが、敵かな中に執り
行われ、滞りなく終了しま
した。(Y)

山口銀行 スマホポータルアプリ

Smartphone Portal Application

▼アプリのダウンロードはこちら▼



いつでも、どこでも、カンタンに
便利な機能が1つのアプリにまとまりました!



山口銀行
ポータルアプリ

スマートフォンに
左記アプリを
ダウンロードして
ください。



山口銀行
YAMAGUCHI BANK